



カリオン

Vol. 10



2009年10月

発行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学校長 湯浅志郎
編集責任者 事務部長 久保純一
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2
TEL/FAX 079(299)0052(直通)

トレーニングセンター



今年も、赤十字災害救護活動に必要な救護技術の習得を目的に、トレーニングセンターを開催しました。学生は、テント設営・担架の取り扱い・無線機の取り扱いなど救護活動に必要な基本的技術の講習を受けたのち、クラスⅡが救護班を編成して、傷病者役（クラスⅠ）の救護に当たりました。訓練とはいえ、人と状況が複雑に絡み合い、一瞬の判断や行動力が求められます。戸惑いながらもクラスみんなで協力し、傷病者全員を救助することができました。新カリキュラムでは、災害看護論は必修科目になりました。

(専任教師：糟谷 緑)

後期行事予定

平成21年

- 9月** 28日(月)～クラスⅢ院外実習
- 10月** 1日(木)後期授業開始
12日(月)～15日(木)クラスⅡ日本赤十字社本社訪問およびレクリューション
13日(火)～10月23日(金)平成22年度社会人入学試験願書受付
28日(水)クラスⅠ戴帽式、戴帽を祝う会
31日(土)平成22年度社会人入学試験
- 11月** 5日(木)・6日(金)クラスⅡ保育所実習
30日(月)クラスⅠ平成21年度兵庫県国民保護共同実動訓練参加、
クラスⅡ関西看護学生研究大会参加、クラスⅢ1名発表
- 12月** 1日(火)～平成22年1月6日(水)平成22年度一般入学試験願書受付
22日(火)球技大会
25日(金)～1月6日(水)冬季休業

平成22年

- 1月** 20日(水)・21日(木)平成22年度一般入学試験
29日(金)～2月16日(火)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅱ
26日(火)～1月27日(水)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅰ～3
- 2月** 21日(日)第99回看護師国家試験
- 3月** 3日(水)卒業を祝う会
5日(金)クラスⅢ卒業式
20日(土)～4月5日(月)春季休業
26日(金)国家試験合格発表

姫路赤十字看護専門学校教育理念

【人道】

赤十字における看護基礎教育のねらいは、赤十字の基本原則である「人道」を基盤に、看護の分野において社会の実情に応える、血かな人間性と看護に関する幅広い能力を兼ね備えた看護の実践者を育成することにある。赤十字は、国際的な視野に立って人の命を守り、個人の尊厳と権利を尊重する。その看護活動は、国際・人種・信条・政治および社会的立場のいかんにかかわらず、人々のあらゆる健康レベルに応じて健康上の問題が解決されるよう支援することである。複雑な要因に影響される健康問題は総合医療活動として包括的、組織的に取り組まれるようになってきている。この保健医療福祉活動の一環を担う看護の機能は、個人のみならず家族、集団、コミュニケーションへのアプローチへと拡大するとともに、より専門的な実践と調整的役割が期待されている。

したがって赤十字における基礎教育終了時には、保健医療福祉システムの一員として、また国内外における赤十字活動の要員として、個人を尊重した看護活動ができる基礎能力を有し、将来看護の発展に貢献できる看護実践者の育成を目指すものである。



【目的】

「人道」「公平」「中立」「独立」「奉仕」「單一」「世界性」の赤十字の基本原則に基づき、既に最高原則である「人道」を基調として、専門職者である看護師の質素を果すために必要な能力を開拓する。

【目標】

1. 看護の対象である人間を総合的に理解する。
2. 健康状態や生活の場に応じた基礎的看護が実践できる。
3. 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止する。
4. 看護師として他の保健医療福祉チームと協働する基礎的能力を身につける。
5. 看護の実践に際しては、日本看護協会が掲げる「看護者の倫理綱領」をよく理解し、遵守する。
6. 赤十字の基本原則を理解し、国内外を問わず赤十字の諸活動に高い関心をもち、また積極的に参画する。
7. 専門職者としての自覚と誇りを持ち、自己啓発する。
8. 健全な人間関係を築くための基礎的能力を身につける。

トレーニングセンターに参加して



トレーニングセンターは模擬の災害訓練ですが、救護者役・傷病者役どちらも真剣でした。私は医師役を体験しましたが、被災者が次々に押し寄せる中で、自分の役割は何か？今は何を優先すべきか？を瞬時に判断して動くことが大切だと学びました。みんなが責任をもって各自の役割をやり遂げ、真剣に議論する姿は、とてもかっこよかったです！一人一人が成長し、クラスの団結も強まった、とても充実した訓練でした。

(クラスII)

トレーニングセンターに参加して、1日目、基礎行動の訓練ではクラスI、クラスIIとも大きな声で息の合った行動をとることができ、団結力が深まりました。2日目、クラスIは本物そっくりな傷を作るトラウマメイクを施し患者役になりました。私たち患者を救助するのはクラスIIのメンバーで、先輩方の素早い行動に圧倒され、また救助する姿を見て個々が的確な判断をすることや協力し合うこと



を学びました。来年、私たちが先輩方の様なトレーニングセンターで

当日はみんなで皆寝食を
見ました



起きるか不安ですが頑張りたいです。



(クラスI)

ナイトンゲール祭



伝統あるナイトンゲール祭の担当委員となり、私たちや患者さんにとって最高のものになるように全力で企画・運営しました。

病棟でキャンドルサービスをしたり歌を唄ったりしていると、

患者さんも一緒にペンライトを振って下さり、中に涙を流しておられる方もいらっしゃいました。

終わった後もたくさんの方から「ありがとう」「素敵なお看護師になってね」と声をかけていただき、このナイトンゲール祭がどれほど素晴らしいものかを改めて実感した瞬間でした。

フローレンス・ナイトンゲールは、イギリス人で大富豪の両親の娘で、1820年5月12日イタリアのフィレンツェに生まれました。

クリミア戦争で傷ついた兵士たちを、ランプを持って慰めたことから“ランプを持った淑女”と呼ばれるようになりました。そこで、5月12日には聖路加十字病院でキャンドルサービスを行なっています。

(クラスII)



オープンキャンパス

受験希望の方に、学校のことを知るために、毎年オープンキャンパスを実施しています。8月5日・12日・19日（水）の3日間で約150名の方が参加されました。

施設見学、呼吸音の聴診や血圧測定の体験、実習室での看護技術練習見学、看護衣の着用と写真撮影、質問コーナーなどがあり、在校生もボランティアで活躍しました。

オープンキャンパスに多くの方が参加してくださって嬉しかったです。参加者の方々が興味深くいろいろなものを見ている姿を見て、私も2年前にこの学校のオープンキャンパスに参加したことを思い出しました。実習室に入ると初めて見るものばかりで手にとって見たり触ったりしてとても感動し、看護学校に早く行きたいなとわくわくしていました。これからも初心を忘れず、看護師を目指して頑張ろうと改めて思いました。

(クラスⅡ)



※写真掲載の許可を得ています

学会発表

第10回日本赤十字看護学会学術集会

東京都渋谷区広尾にある日赤看護大学で、6月20日（土）、21日（日）の2日間にわたり、第10回赤十字看護学会学術集会が開催されました。本校では、教員の資質向上を目指して、本学会において毎年1例以上の発表を目標にしてきました。今回も2例応募して、採用されました。2例とも日赤振興会創立10周年記念研究助成金を受けて実施しました。

私が発表した研究は松山、岡山、京都第二、大津、姫路の各赤十字看護専門学校の副校長と中田康夫氏（神戸常盤大学准教授）の共同研究です。タイトルは「赤十字看護専門学生の自己教育力と自己効力感に関する総合的研究」です。



(副校長：樺山 たみ子)

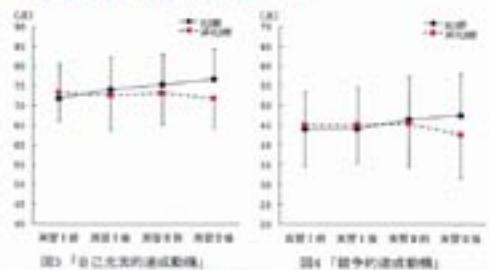
もう1例は「基礎看護学実習におけるリフレクティブ・ジャーナルの導入は学生の自己教育力の向上に寄与するか？」です。研究方法は、基礎看護学実習Iと、基礎看護学実習IIの実習日誌を、RJ群の学生のみリフレクションを活用して記述し、非RJ群は各校で従来実施されていた方法で記述。実習前後の計4回「自己教育力」と自己教育力に関連するといわれている「達成動機」「自尊感情」「自己効力感」を調査しました。調査には本校の学生及び全国赤十字看護専門学校の学生に協力をいただきました。



発表

3. 達成動機：

「自己充実的達成動機」⇒生命力・活力
「競争的達成動機」⇒価値のあるものを成し遂げよう、
自己を高めようとする達成動機
⇒どちらもRJ群が有意に上昇



結果、RJ群の学生は、自己教育力の「I成長・発展への志向（志向性、達成と向上の意欲）」と「II自己の対象化と統制（自分自身へのまなざしや自己認識と自己統制の力）」が有意に上昇しました。また、達成動機の「自己充実的達成動機」と「競争的達成動機」でも有意差を認めました。

(専任教師：糟谷 緑)

病院探検（基礎看護学実習Ⅰ－1）

今回の院内探検は、貴重な出会いの連続でした。一番印象に残ったのは、事務の仕事をしておられる人たちとの出会いでした。お話を聞いたり、お仕事を見せてもらったり気付いたのですが、一言に事務と言ってもさまざまな部門がありました。縁の下の力持ちとも言えるような人たちが、間接的ではありますが、患者さんによりよいケアを提供するために働いておられます。「病院」はたくさんの人たちに支えられていることを実感しました。

お世話をなった皆さん
ありがとうございました

(クラスⅠ)



緊張
したねー

胸章をつけて、いろいろな部署を
探検し、質問も…



病院看護部長室

なぜ 看護部長に
なられたのですか

「聴覚障害を持つ人の看護」を学んで (成人看護学の概論)

成人看護学の概論の生活行動に障害のある人の看護として、毎年、1年生を対象に簡単な手話講座と聴覚障害者についての話をしています。

将来看護師になる看護学生に、手話を母語とする聴覚障害者とコミュニケーションをとるにはどうすればいいかを知ってもらうことや、聞こえないことからくる情報不足により当然知っているはずのことがわからない、ということなどの話をします。

また、病院に少しでも手話がわかる看護師さんがいると、聴覚障害者はそれだけで安心できるので、時間がある時には、病院で開いている手話教室にも参加して欲しいと思います。

(事務係長：尾形 治美)



私はクラスⅠは先日、事務係長の尾形さんから手話の講義を受けました。

尾形さんが、手話は聴覚障害を持つ人の言語であるとおっしゃったとき、私はある出来事を思い出しました。以前、聴覚障害を持つ人とお話ししていた時、私はその方にとても感謝していましたにもかかわらず上手くお礼を伝えられずもどかしい思いをしました。そのとき「ありがとう」の手話だけでも知っていたら、もっと相手に気持ちが伝わっていたと思います。言語を知ることで、よりコミュニケーションを深められるのです。手話をただ覚えれば良いのではなく、聴覚障害を持つ人の気持ちを考えることが何より大切だということを学びました。

(クラスⅠ)



赤十字救急法

先日、私は赤十字救急法救急員に認定されました。しかし、認定されるまでにはたくさんの苦労がありました。心肺蘇生法や包帯法、救護などたくさんのこと学びました。

その中でも包帯法の練習は強敵でした。先生方の迅速で的確なお手本に圧倒され、近づこうと思ってもなかなかできず、とてもはがゆい思いをしました。しかし放課後みんなで練習したり、教えあったり、私にとってはみんなとの距離が縮まる、楽しく成長できる時間でした。これらのことを通して、人を救うことは一人ではできないこともあります。

(クラスⅠ)



魚の解剖

魚の解剖を体験して、いろいろな発見や学びがありました。例えば、魚の心臓はすごく小さかったり、臓器や血管を少し傷つけただけでかなりの出血量があったりなど驚きの連続でした。それと同時に生体の構造はとても繊細だと感じました。最初は、魚をバラバラにすることに少し抵抗がありましたが、実際に観て触れることによって多くのことを感じ、学べました。この授業に参加・協力してくださった先生方と魚に感謝です。

(クラスⅠ)



姫路市立水族館技術係長さんに指導を受けています。



小児看護学 演習



小児看護学講師と



小児看護学援助論でバイタルサイン人形を用いて演習を行いました。この人形は呼吸をしているように、胸が動いたり、体温を測れたり、脈を打っていたりして生きているかのようでした。実際に脈拍を測定するよ、1分間に130回で、成人の脈拍よりも速く、計測しにくかったです。小児の身体的特徴をこの人形などから学んで、これからの学習や実習につなげていきたいと思いました。

(クラスⅡ)

夜間実習



右は姫路赤十字病院5階東病棟 臨床指導者

9月4日から夜間実習が始まりました。夜間実習は普段の実習とは異なり、看護師さんのジョブシャドウリングをしながら、患者の様子などをみました。実習では、看護師が夜間に4人しかいない中で、約50人の患者さんの安全を守るために環境作りや連絡・調整をどのように行っているのかなども学ぶことができました。

今回、夜の病棟や看護師さんの行動を実際に見学することにより、卒業後に看護師として夜間の勤務に行く時に役に立つのではないかと思いました。

(クラスⅢ)

ケーススタディ 発表



ケーススタディをまとめるにあたって、一番感じたことは「自分の考えていることを言葉にする難しさ」です。患者さんに関わって感じたことを自分の言葉で表現しようと思っても上手く言葉がみつからず、悩むことも多くありました。しかし一つ一つの言葉の意味を考えながら、自分の行った看護について振り返ったことで、自分を見つめ直すよい機会となりました。一つの事例を深くリフレクションすることで、今後の看護につながるヒントを得たように思います。

(クラスⅢ)

講 師 紹 介



体育を担当している内田です。歴史と伝統のある姫路赤十字看護専門学校での教育に携わらせて頂き、大変光栄に存じます。また素晴らしい教職員の皆様から種々ご指導頂き、心より感謝申し上げます。授業を受け持たせて頂いて感じることは、学生の皆さんにとっても「明るく」「朗らか」であることです。皆さんのその「明朗快活さ」を忘れずに、優しく心のあたたかい看護師になって下さいね。

(体育講師)

このたび看護学校で「医療概論」を教えることになりました。以前龍野町の学校では、「消化器」「内分泌」などの臨床に沿った講義を数年間行ったことがあります、受講生は医療について少しは知識を身に付けていただろう学年だったので、話をしていても理解ができるかなという感触がありました。でも今回の講義は入学したばかりの1年生で、しかも教科書の途中半分からのスタートだったので、専門用語が多く、医療に関係する様々な基礎的な内容を十分に消化しきれていない学生が多かったのではと教えることの難しさを感じました。

(姫路赤十字病院副院長)



老年看護学援助論Ⅰ 運動器を担当しています。整形外科・リハビリ科病棟では脊椎疾患、膝関節疾患、股関節疾患、悪性腫瘍、関節リウマチなどの患者様が多く、手術前後の日常生活援助から、退院、転院後を見据えた援助などを行っています。一人一人の患者様との出会いを大切に「ここに入院してよかった」と思ってもらえるようななかかわりを、学生の皆さんとも一緒に作っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

(姫路赤十字病院5階東病棟師長)

歴史シリーズ

赤十字よこの信頼を裏切るな

今年は赤十字思想誕生150周年であるが、デュナンが赤十字旗を掲げて砲撃を止め、避難民の救助にあたらせたのは、1871年普仏戦争のときであった。赤十字旗の力が初めて示されたときである。この写真は1968年、ベトナム戦争最中のものである。今から50年前、赤十字思想誕生から100年目に当たる。戦禍の街を手製の赤十字旗を持った老女がよろめき歩いている。

(副校长: 横山 たみ子)

6

奉仕団活動報告 施設訪問班



*写真掲載の許可を得ています



「夏祭り」

介護老人保健施設しおさきヴィラで毎年行われる夏祭りにボランティアとしてクラスⅠ・Ⅱの9名が参加しました。

出店の準備を手伝ったり、利用者さんと一緒に催し会場をまわったりしました。私たちはヘルパーさんたちと一緒に利用者さんと関わることで、声のかけ方や接し方などたくさんの学びを得ることができました。

この経験を活かしてこれから看護に繋げていけばと思います。
(クラスⅡ)

委員会活動報告 環境保健委員

新型インフルエンザが8月末に全国的な流行期に入り、現在も患者は増え続けています。学校では、ハイターを用いた掃除や、シャボネット使用により手洗い回数が増え、インフルエンザに対する意識が高くなりました。体調管理に気をつけインフルエンザの流行期を乗り切りましょう。

(クラスⅡ)



サークル活動 運動好会



運動好会では、主に毎月第2・第4土曜日に病院のバレーボール部の活動に参加させて頂いています。普段なかなか体を動かす機会が無いので、ストレス発散にもなってとても楽しいです。今年の夏休みには、ボーリングもしました。春には、テニスやバーベキューを行う予定です。バレーボール以外のスポーツもしますし、初心者・経験者を問わず誰でも参加できるので、興味のある方は一度是非参加してみて下さい。

(クラスⅡ)

近畿地区赤十字病院球技大会

バレーボール3位

8月23日の近畿地区赤十字病院球技大会で、姫路赤十字病院バレーボール部が3位になりました。練習には、運動好会のメンバーも参加し確実に実力をアップしています。卒業後一緒に大会に出るのが私の楽しみです…。

(専任教師：松井 里美)



F.ナイチシゲール記章授与式参列

平成21年8月12日水曜日、第42回フローレンス・ナイチンゲール記章授与式が、日本赤十字社名誉総裁皇后陛下、同名誉副総裁秋篠宮妃殿下、同常陸宮妃殿下ご臨席のもと、東京プリンスホテルで行なわれました。齊田トキ子さんが皇后陛下より、章記と記章をご授与されました。日本人の受章者は101人になります。

今年度、本校では初めて各学年2名ずつの看護学生が、授与式に参列させていただきました。授与式の後、受章者の講演と、赤十字国際委員会のクリスティヌ・ベリー副総裁の記念講演「紛争下の人道活動」が行なわれました。

(教務主任:柳めぐみ)



授与式は非常に気品があり、厳肅でした。記章を授与されることは名誉のあることだと思いました。

講演会で齊田さんは「人道博愛の精神は私にとって永遠の課題です。」と言われており、看護に対する志の高さを感じました。また、「教えることは学ぶこと」をモットーにされており常に学ぶ姿勢で看護を向上させようと努力されたのだろうと思いました。

看護師を目指す者として、私もたくさんのこと学び、志を高く持ちたいです。

(クラスⅢ)

免疫力をアップして病原菌を吹っ飛ばせ!!



風邪やインフルエンザなどが流行する季節です。こういう時にこそ免疫力を鍛えて健康に暮らしたいものです。免疫力とは、病原菌から自分の体を守る力のこと。その免疫力をアップするための食材には、緑茶、唐辛子、生姜、ブルーベリー、さつま芋、トマト、いちじく、キノコ類などがあります。また、体を温める、特にお腹、お尻、太ももを温めるとリンパの流れが良くなり、免疫力が上がるとも言われています。食欲の秋ですが、食べ過ぎに注意し、バランスの良い食事を心掛け、免疫力を高めましょう。

(専任教師:森口 真由美)

季節の花々

『ススキ』

秋の色が深まる季節となりました。クラスⅢの実習指導のため、中町赤十字老人保健施設へ車を走らせます。その途中で見つけたススキの風景が目にとまりました。

(専任教師:藤元 由起子)



姫路市内にお住まいの皆様へ 教育ボランティアへの登録のお願い

本校では、地域住民の方々のお力を借り、学生と共に育てていきたいと考えております。教育ボランティアにご登録いただいた方には、本学の授業に来ていただき、患者役になったり、健康への取り組みを話すなど、本学の教育にご協力いただきます。詳細は、田畠(専任教師)までお問い合わせ下さい。



■ ■ ■ ■ ■

この夏は、台風による大雨や地震による被害など自然災害が相次いだ。また新型インフルエンザの再来、政権交代など身の回りで次々いろいろなことが起こった。いつも何かに追いかかれる忙しい毎日が過ぎていく。つい不平不満が口についてくる。そんな中で迎えたシルバーウィークはありがたかった。

少し休んだらまたガンバロー、そう思えるから不思議だ。

健康で、やるべきことがたくさんある、これはこれで恵まれているのだと思い返して、さあー今日からまたガンバロー

(専任教師:名村 かよみ)

◆カリオンへのご意見、ご感想など是非お寄せ下さい。

<http://www.hrc-hp.com> 住所、電話、FAXは一面を参照してください。

